

これは、記入例です

- ・赤字が記載例
- ・青字が補足説明となっています

(施設名：) 水害時避難確保計画

年 月 日作成

所在地： 墨田区吾妻橋 1 - 23 - 20

電話： 03 - 5608 - 6206 作成者：

1 計画の目的

この計画は、水防法第 15 条の 3 第 1 項に基づくものであり、本施設の利用者の水害時の円滑かつ迅速な避難の確保を図ることを目的とする。

2 計画の報告

計画を作成及び必要に応じて見直し・修正をしたときは、水防法第 15 条の 3 第 2 項に基づき、遅滞なく、当該計画を区長へ報告する。

3 計画の適用範囲

この計画は、本施設に勤務又は利用する全ての者に適用するものとする。

4 施設の状況(人数)

本施設の休館日(**毎週 曜日、無し**)

平日(月～金)		土		日・祝	
利用者	施設職員	利用者	施設職員	利用者	施設職員
昼 人	昼 人	昼 人	昼 人	昼 人	昼 人
夜 人	夜 人	夜 人	夜 人	夜 人	夜 人

(夜の人数は、入所者及び宿直職員数)

・昼と夜の時間に明確な基準はありません。施設に応じて夜勤体制等の時間の基準に合わせご記入ください。

・利用者の人数は定員がある場合は定員数を、ない場合は実態にあわせて記入してください。

5 施設利用者の現況(避難行動要支援者の利用状況)

当施設は通所施設であり、主に の方が利用する施設です。

6 施設周辺の被害想定（墨田区水害ハザードマップによる）

(1) 荒川が氾濫した場合

浸水深 3 m以上 5 m未満 浸水継続時間 2週間以上

(2) 高潮

浸水深 3 m以上 5 m未満 浸水継続時間 1週間以上

(3) 大雨により雨水出水が発生した場合

浸水深 0.2 m以上 0.5 m未満

・区 HP 内の墨田区水害ハザードマップにて自身の施設をご確認ください。

https://www.city.sumida.lg.jp/anzen_anshin/bousai/suigai/suigai.html

7 水害が想定される場合の避難先

水害が想定される場合の避難先及び施設内安全確保を図る場所は、以下のとおりとする。悪天候の中の避難や夜間の避難は危険を伴うことから、本施設における想定浸水深が浅く、建物が堅牢で家屋倒壊の恐れがない場合、本施設内で安全確保を図るものとする。その場合は、本施設内の備蓄物資を使用する。

(1) 区が警戒レベル3（高齢者等避難）を発令した場合

避難場所 小学校（本施設の上階への避難も可能）

避難場所所在地 墨田区 丁目×番号

避難方法 徒歩、バス等の車での移送

(2) 区が自主的広域避難情報を発令した場合

避難場所 浸水区域外の提携施設（本施設の上階への避難も可能）

避難場所所在地 市 丁目×番号

避難方法 徒歩、車での送迎

- ・施設を休館する場合は記入不要です。
- ・区が自主的広域避難情報を発令する具体的なタイムラインは、区ホームページ内の墨田区水害ハザードマップ（冊子）P.20～21をご確認ください。

8 施設の休館・事業休止の基準（勢力の強い台風が接近の予報がある場合）

主要鉄道の計画運休発表

区が警戒レベル3を発令、区が自主的広域避難情報を発表

区が台風上陸前日に避難所開設を決定した場合

・台風が接近する中、上陸見込みの場合に施設を開館することでかえって利用者、従業員に危険を及ぼす可能性がありますので、利用者に周知したうえで休館することも大切です。

・計画運休が実施されることで、従業員が帰宅できなくなる可能性もありますので上記同様、施設を休館、事業休止することは重要です。

9 防災体制

台風が接近する場合、大雨により雨水出水が発生した場合

(1) 注意体制：大雨注意報の発表、1時間雨量40mm超

活動内容	対応要員
気象予報等の情報収集	情報収集伝達要員

(2) 警戒体制：大雨警報の発表、1時間雨量80mm超、浸水の前兆あり

活動内容	対応要員
気象予報等の情報収集、保護者への事前連絡、 周辺住民への事前協力依頼	情報収集伝達要員
使用する資器材の準備、要配慮者の避難誘導	避難誘導要員

(3) 非常体制：記録的短時間大雨情報の発表、大雨特別警報の発表

活動内容	対応要員
施設内全体の避難誘導	避難誘導要員

・(1)～(3)は、施設の運用状況により変更してください。

10 自衛水防組織

統括管理者	施設長	自衛水防組織の各係員に対し、指揮・命令を行う。避難状況の把握を行う。自衛水防組織の各係員に対する教育及び訓練を行う。
情報収集要員	副施設長ほか	水害時における気象情報等の情報収集を行う。関係者及び関係機関との連絡を行う。
避難誘導要員	その他の職員 全員	避難誘導にあたる。未避難者、要救助者の確認を行う。避難器具の設定、操作にあたる。

・施設の運用状況により変更してください。

11 情報収集及び情報伝達

(1) 情報収集

収集する主な情報及び収集方法は、以下のとおりとする。

収集する情報	収集方法
気象情報	テレビ、ラジオ、インターネット
荒川水位情報	荒川下流河川事務所 HP、すみだ安全・安心メール
避難情報 (警戒レベル発令)	防災行政無線(5608-6274)、区ホームページ、すみだ安全・安心メール、テレビ(dボタン)など

* 停電時は、携帯電話を活用し、充電器やバッテリーを備蓄する。

* 施設から雨の降り方を確認し、施設周辺の水路や道路等の状況に注意する。

・ [施設の運用状況により変更してください。](#)

(2) 情報伝達

「施設内緊急連絡網」に基づき、また館内放送や掲示板を用いて、体制の確立状況、気象情報、荒川の水位等の情報を施設内関係者間で共有する。

体制確立時、あらかじめ区と調整した事項について、区に報告する。

区への連絡先 墨田区 課 電話

・ [本計画書を送付する部署名を記入してください。](#)

12 避難の確保を図るための本施設の整備

情報収集・情報伝達及び避難誘導の際に使用する本施設及び資器材については、下表「避難確保資器材等一覧」に示すとおりである。これらの資器材については、日頃からその維持管理に努めるものとする。

(1) 避難確保資器材一覧

情報収集・情報伝達	テレビ(台)、ファックス(台)、携帯電話(台)、携帯電話用バッテリー(台)、乾電池(個)
避難誘導	利用者名簿、携帯電話(台)、懐中電灯(個)、乾電池(個)
屋内安全確保	水()、食料()、毛布(枚)
利用者	紙おむつ(枚)、おしりふき(枚)、おやつ()
その他	ウェットティッシュ(枚)、ゴミ袋(枚)、タオル(枚)

(2) 浸水を防ぐための対策

止水板 (枚) 土のう (袋) 水のう (袋)
--

1 3 防災教育及び訓練の実施

従業員、施設利用者等への防災教育及び訓練は、以下のとおり実施する。

(1) 防災に係る研修

毎年 4 月に、新規採用の従業員を対象に、防災情報及び避難誘導に関する研修を実施する。

(2) 防災訓練

毎年 7 月に、全従業員を対象として情報収集・情報伝達及び避難誘導に関する訓練を実施する。

・防災訓練は、従業員によるミーティング(本計画を従業員で確認する)等も訓練とみなします。